

令和2年定例会 2月定期議会
産業建設常任委員会調査報告書

令和2年3月6日

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和元年12月6日～令和2年1月31日

日時	活動区分	内 容	頁
12. 6 (金) 16:05～16:32	協 議	<p>■12月定期議会中における調査事項について 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員4名</p>	—
12. 12 (木) 10:00～15:54	所管事務調査① (議案調査)	<p>《建設部》 ■道路管理瑕疵について ■市内道路・河川・下水道の被災状況と今後の復旧方法について ■ひだまりタウンよねやまについて ■登米市財政健全化中期行動計画について</p> <p>《産業経済部》 ■指定管理者の指定について（米山農村総合管理施設・登米森林公園） ■一般会計補正予算について ■登米市企業立地促進条例の改正について ■放射能汚染の農林業系廃棄物の処理について ■登米市財政健全化中期行動計画の実行による効果額目標について</p> <p>〔出席者〕 氏家委員長ほか委員7名 建設部 千葉部長ほか9名 産業経済部 阿部部長ほか9名</p>	—
12. 16 (月) 9:20～9:40	所管事務調査② (現地調査)	<p>■要望箇所の現状把握 米山町善王寺地区 ほんたく苑から七枚田線に繋がる区間 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員5名 建設部 千葉部長ほか5名</p>	—
10:20～12:00	所管事務調査③ (参考人招致)	<p>■「一級河川南沢川・北沢川の改修、県道北上津山線道路整備に関する要望について」 ・参考人から意見聴取 ・情報交換</p> <p>〔出席者〕 氏家委員長ほか委員5名、 参考人 津山地域振興会堀田会長ほか3名、 津山総合支所 佐藤支所長ほか2名</p>	7

日時	活動区分	内 容	頁
12.16(月) 13:00~13:40	協 議	<ul style="list-style-type: none"> ■議会による事務事業評価について ■登米市産業振興会との意見交換会のふりかえり 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員 5 名	—
12.18(水) 10:00~11:00	協 議	<ul style="list-style-type: none"> ■委員会報告について 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員 6 名	—
1.14(火) 10:00~11:58	所管事務調査④ (議案調査)	《建設部》 <ul style="list-style-type: none"> ■道路管理瑕疵について 《産業経済部》 <ul style="list-style-type: none"> ■災害復旧事業について ■「日本遺産」の認定に向けた取り組みについて 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員 6 名 建設部 千葉部長ほか 3 名 産業経済部 阿部部長ほか 8 名	—
13:10~15:30	意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ■登米総合産業高等学校との意見交換会 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員 6 名 登米総合産業高等学校 高橋教頭ほか 2 名、機械科生徒 14 名	11
1.15(水) 13:03~13:32	協 議	<ul style="list-style-type: none"> ■今後の年間活動計画の確認について 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員 6 名	—

産業建設常任委員会 活動概要

【所管事務調査②】

1. 期 間：令和元年 12 月 16 日(月) 午前 9 時 20 分～午前 9 時 40 分
2. 場 所：米山町善王寺地区要望箇所 はんとく苑から七枚田線に繋がる区間
3. 事 件：(現地調査)
「生活道路の改良工事の要望書」の現状把握
4. 出席者：委員長 氏家英人、副委員長 熊谷和弘
委 員 關孝、浅田修、相澤吉悦、及川長太郎

(建 設 部) 建設部長 千葉清、建設部次長 菅原和夫、土木管理課長 伊藤勝、
道路課長 星洋徳、道路課課長補佐 福泉淳
土木管理課課長補佐 三浦訓徳

(議会事務局) 主幹兼係長 千葉敬子
5. 概 要：
9 月 30 日、生活道路改良工事を願う住民の会(代表 朝来行政区長 鈴木敬一)
から提出された要望書の内容について、現状を把握するため現地を調査した。

生活道路の改良工事の要望書

はんとく苑から七枚田線に繋がる区間の生活道路は、地域住民が日常的に利用する生活道路で、行政区で草刈等の作業を行っている。道路幅が狭く、車の相互通行が出来ない状況であり、近年は雑木林からの倒木が発生し、撤去作業に苦慮している。生活道路にすることを要望するもの。



朝来地区の住民の生活道路。台風第 19 号では倒木・路面崩れが発生した。

【所管事務調査③】

1. 期 間：令和元年12月16日(月) 午前10時15分～午前11時58分
2. 場 所：津山総合支所 会議室
3. 事 件：(参考人招致)
一級河川南沢川・北沢川の改修、県道北上津山線道路整備に
関する要望について
 - ・参考人から意見聴取
 - ・情報交換
4. 出席者：委員長 氏家英人、副委員長 熊谷和弘
委 員 關孝、浅田修、相澤吉悦、及川長太郎
(津山総合支所)支所長 佐藤貞光、市民課長 佐々木勝彦、
課長補佐兼地域振興係長 佐々木祐也
(議会事務局)主幹兼係長 千葉敬子
5. 概 要：(別紙のとおり)

■一級河川南沢川・北沢川の改修、県道北上津山線道路整備に関する要望について

○概 要

台風第 19 号による津山町横山地区の被災状況と復旧状況を把握するとともに地域住民の意見を聴取し、今後の復旧事業や生活再建に係る予算審議等の参考とするため調査した。

(意見聴取事項)

- ・河川改修及び道路整備について、地域が望む優先整備内容
- ・河川改修及び道路整備について、地域が望む効果的な整備の進め方

(参考人)

- ・津山地域振興会 会長 堀田 耕平
- ・津山区長会 会長 阿部 慶助
- ・津山区長会 副会長 阿部 篤雄
- ・横山地区災害から人命財産を守る会 会長 西條 清貴



(主な意見)

河川改修及び道路整備について、地域が望む優先整備内容

- ・台風第 19 号で被害が生じた一級河川南沢川・北沢川等の堤防の早期復旧
- ・横山久保地区排水施設の整備
- ・県道北上津山線道路整備計画を見直し久保地区に越水しない南沢川右岸堤防の整備と早期の県道整備
- ・一級河川南沢川・北沢川等の全域の堆積土砂の撤去
- ・一級河川南沢川・北沢川等の全域の支障木の伐採
- ・一級河川南沢川の未改修堤防の整備
- ・南沢川長畑入口から水沢入口間の流路整備
- ・石貝川国道 45 号交差部の上流狭窄部の改修整備
- ・黄牛川四反田橋から銅谷場間の河道拡幅等の河川改修

☞土砂の撤去と川幅の拡幅を行い、流量を確保して欲しい。

河川改修及び道路整備について、地域が望む効果的な整備の進め方

- ・河川と道路、関連した一体的な整備
- ・現状復旧でなく改良復旧での整備



○所見

令和元年8月7日、横山地区災害から人命財産を守る会（会長：西條清貴氏）から一級河川南沢川・北沢川の改修、県道北上津山線道路整備に関する要望書が提出されたことで、当委員会は現状把握のため、9月17日に現地調査を行い、当該地区における河川、道路（国・県管理）等の状況を確認していた。

しかしながら10月13日に発生した台風第19号による豪雨で南沢川が氾濫するなど、当該地区は再度、大きな被害を受けてしまった。そこで、あらためて津山振興会（会長：堀田耕平氏）、津山区長会（会長：阿部慶助氏、副会長：阿部篤雄氏）、横山地区災害から人命財産を守る会（会長：西條清貴氏）を参考人として招致し、津山総合支所にて調査した。

近年の集中豪雨により登米市内各地域に浸水やがけ崩れ、内水などの被害が多発している。特に津山町横山久保地区においては、ここ10年で4度目の浸水被害となるなど、市民生活に深刻な不安感を抱かせている。委員会としては、要望が出されている県管理の道路整備や河川改修、また、国管理の道路整備等の早期竣工のため、国・県の出先機関へ足を運び、強く訴えかけを行うことを確認した。



産業建設常任委員会 活動概要

【意見交換会】

1. 日 時：令和2年1月14日(火) 午後1時10分～午後3時30分
2. 場 所：宮城県登米総合産業高等学校 会議室
3. 事 件：登米総合産業高等学校との意見交換会
4. 出席者：委員長 氏家英人、副委員長 熊谷和弘、
委 員 上野晃、關孝、浅田修、相澤吉悦、及川長太郎

登米総合産業高等学校 教頭 高橋英勝、
教諭 齋藤修、熱海健二
機械科3年生 生徒14名

(議会事務局) 主幹兼係長 千葉敬子
5. 概 要：(別紙のとおり)
6. 所 見：(別紙のとおり)

■登米総合産業高等学校との意見交換会

○概要

将来の登米市を担う高校生に、議会を身近に感じてもらい、社会の一員としてまちづくりに参画するきっかけづくりを行う。また、若者の意見を聴き、まちづくりに若者の視点を取り入れ、今後の政策提案に反映させる。

第一部 ▶▶▶ 出前講座『市議会の仕事』

議員が、議会の仕組みについて説明。

第二部 ▶▶▶ 起業実践発表『スレート家屋の保存と再利用に向けた試み』

登米総合産業高等学校では、登米市に眠っている知られざる文化や伝統、工芸品や食材等に着眼し、それらを地域内外に紹介し製品化して、登米市の発展に積極的に関わろうと「起業実践」という課題研究授業を行っている。

機械科では地域の「スレート家屋」に注目。その価値を再認識し宣伝したりしながら、市民自らが地域の財産として保存したいという機運を高めていきたいと課題研究に取り組んだ。

問題点	解決の糸口	解決方法
<ul style="list-style-type: none"> ◆専門の「屋根職人」がいない ◆材料の「スレート」が手に入らない ◆登米市ではスレートの原料である「玄昌石」を採掘しておらず加工もしていない ◆欲しい人がいれば、スレートを譲りたい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆志津川入谷地区に「屋根職人」が一人いるらしい ◆浅水付近には、昔「屋根職人」をしていたという家が多くある ◆米谷には、空き家の管理や利用を専門に手掛けている企業がある ◆スレートを譲りたい人が結構いる。再利用できるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「屋根職人」を一人でも多く見つけ出す。技術を継承する ◆昔「屋根職人」をしていたという家で情報を収集したり、残されている加工機材などを（文化財として）譲ってもらう ◆空き家を扱う企業と連携する ◆再利用するために、スレートを譲りたい人と欲しい人を紹介する中継点をもうける

もし「スレート家屋」を保存しようとするならば・・・

登米市への具体的な提案

<u>職人不足について</u> <ul style="list-style-type: none"> ◆職人を探す ◆後継者の育成 	<u>材料不足について</u> <ul style="list-style-type: none"> ◆新品のスレートは他地域から調達する ◆再利用を進める ◆廃棄スレートを使って新建材を開発する 	<u>譲渡するにあたって</u> <ul style="list-style-type: none"> ◆再利用の仲介役をする <ul style="list-style-type: none"> ・各庁舎や歴史資料館などの市の施設を窓口にする ・広報その他で大々的に宣伝する ◆空き家管理の業者と連携・援助する <ul style="list-style-type: none"> ・米谷工業高校跡地(県管理)を市が借り受け、業者にリサイクルしたスレートの保管場所として貸し出す等 	<u>その他</u> <ul style="list-style-type: none"> ◆スレート家屋は登米市のシンボルになり得るか ◆プロジェクトチームが必要 ◆失われる可能性のあるものは、十分な時間的余裕を持って、対策を練っておく必要がある
---	---	--	---

第三部 ▶▶▶ 意見交換『若者が住みたいまちづくり』



- ① 登米市の「誇りに思うこと」「残念に思うこと」
- ② 10年後、どんな登米市に暮らしていたいか
- ③ 住みたい登米市になるために私たちにできること

誇り

- ・ 空気や水がおいしい
- ・ おいしい食べ物が多い
（米・牛肉・野菜・はっと）
- ・ 自然豊かで、自然とふれあえる
- ・ ハスがきれい
- ・ 田園風景、景色がよい
- ・ マンガ文化（石ノ森章太郎や大友克洋）
- ・ 平和
- ・ のどかで静か
- ・ 人々の優しさ
- ・ 文化や歴史がある
- ・ 9つの町の文化が融合している

残念

- ・ 若者が遊ぶ場所がない
（お店・公園・映画館・図書館等）
- ・ パチンコ店が多い
- ・ 信号機がなく危険な場所がある
- ・ 道路がボコボコな所がある
- ・ 街灯が少ない
- ・ 交通の便が悪い（鉄道やバス）
- ・ 人口減少が進んでいる
- ・ 隣との会話が少なくなっている
- ・ 地域格差 ・ 財政が厳しい
- ・ 市の大々的に PR できる物が多いのに活用していない
- ・ 外来動物が多くなってきた

10年後 どんな登米市に 暮らしたい？

- ・ 住みやすいまち No1・魅力 No1 のまちになって欲しい
- ・ 笑顔の絶えない活気あふれるまちに暮らしたい
- ・ 老後も安心できるまち
- ・ 医療機関が増えて欲しい
- ・ 街灯を増やし夜でも明るいまち
- ・ 市の誇りである農業が盛んなまち
- ・ 子どもと遊ぶ場所がたくさんあって、子育てしやすいまち
- ・ 登米市で暮らす若い人が多くなって欲しい
- ・ ショッピングモール・ボーリング場があり、若者が集まるまち
- ・ 交通の便（鉄道・バス）がもっと良くなって欲しい
- ・ 今のまま変わらずに
- ・ 仕事のあるまち
- ・ もっときれいな川きれいな長沼に
- ・ 10年後も自然豊かであって欲しい
- ・ 道路を良くして欲しい
- ・ 米の生産量 No.1 になって欲しい

住みたい 登米市するため 私にできること！

- ・ ボランティア活動
- ・ 若者と大人と一緒に地域活動をする
- ・ 若者が集い、人が集まる場所を作る
- ・ 市が誇りとしている特産品を PR
- ・ SNS で登米市の良さを伝える
- ・ バスの増便・駅の整備・バリアフリーを、市長にお願いする
- ・ きれいなまちであって欲しいからゴミ拾いをする、ポイ捨てを禁止する
- ・ 地域の方から、その地域の伝統を継承。継承した伝統を世界に発信！
- ・ 親孝行
- ・ 地域活動に参加、地域貢献
- ・ ユニバーサルデザインを増やす
- ・ もっとスポーツを盛んにする
- ・ 外来動物を駆除する
- ・ 新しいゆるキャラを作る

○所 見

初めての試みとして現役高校生との意見交換会を実施した。目的は地元の高校生には議会を身近に感じてもらい、また、委員会としては若者の意見を聴き、まちづくりに若者の意見を取り入れ今後の政策提案に反映させることにある。

まず、出前講座として委員長から「市議会の仕事」を生徒たちに説明。

そして、生徒たち（機械科 3 年生）からは、1 年かけて取り組んできた起業実践「スレート屋根の保存と再利用に向けた試み」を発表してもらい、關委員が提案内容に対して講評した。

その後の意見交換はワールドカフェ方式で行い、「若者が住みたいまちづくり」について話し合った。

登米市内 3 高校のうち、登米総合産業高校の卒業生たちは地元に残り社会の一員となって活躍する割合が高い。将来の登米市を担っていく人材が育っている学校で、若者はどんな未来のまちの姿を思い描きながら学んでいるのか。そして市議会はそういった若者の想いを見据えた活動、役割りを果たしているのか。今回の意見交換会を通じて互いに「登米市のまちづくり」に対する想いを共有できたと思う。地元高校生との意見交換会は今後も継続して実施していくべき調査活動であると感じている。

